

太陽光発電

2021 -07

パワーコンディショナ自立運転機能




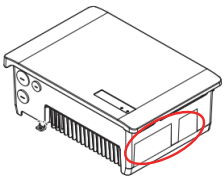
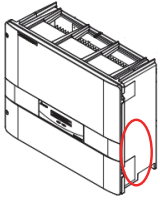
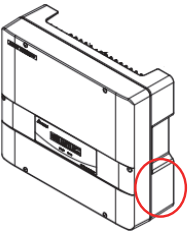
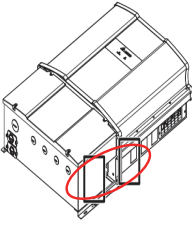
POWER CONDITIONER



停電でも…  
SOLAR POWER  
TURNED ON





# 自立運転機能組合せ表

製品ラベル位置 パワーコンディショナの 型式がわからない場合、 こちらをご参照ください。	パワーコンディショナ 型式	自立運転操作機器				操作 マニュアル
		パワコン 本体操作	パワーモニター		データコレクター	
			PPM R2J-0B5 	PPM R3J-0B5 	D1J_101 	
	H4J_220 H4.5J_230 H5.5J_221 H5.5J_230 H6J_240		●			P6-7
					●	P8-9
	H10J		●			P10-11
					●	P12-13
		●				P14-15
	RPI H4J(P) RPI H4.5J(P) RPI H5.5J(P) RPI H6J(P) RPI H6J-3	●				P16-17
			●			P18-19
	RPI402-1D	●				P16-17
	M16S			●		P20-22
					●	P24-25



## 安全上のご注意 必ずお守りください









安全に関する重要な内容です。よくお読みいただき、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 <b>強制行為を示す記号</b> 行為を強制したり指示したりする内容が書かれています。必ず実施してください。	 <b>禁止行為を示す記号</b> 行為を禁止する内容が書かれています。絶対行わないでください。
---	--

据え付け上の注意事項	
<b>警告</b>	
	<b>爆発性・可燃性・腐食性ガス・温泉など硫化ガスのある場所に設置しない</b> 万一ガスが漏れてたまると爆発・火災・故障の原因になります。
	<b>油の蒸気にさらされる場所に設置しない</b> 感電・漏電・故障の原因になることがあります。
	<b>高温・多湿・ホコリの多い場所(脱衣所・車庫・納屋・物置・屋根裏等)に設置しない</b> 火災・感電・漏電・故障の原因になることがあります。
	<b>沿岸から500m以内の屋外には設置しない</b> 腐食・故障の原因になります。
<b>注意</b>	
	<b>不安定な場所、振動または衝撃をうける場所に設置しない</b> 転倒・落下によりけがをしたり、機械が破損して、火災・感電・故障の原因になることがあります。
	<b>高周波ノイズを発生する機器のあるところに設置しない</b> 正常な動作ができなくなることがあります。
	<b>電氣的雑音の影響を受けると困る電気製品の近くに設置しない</b> 電気製品の正常な動作ができなくなることがあります。
	<b>商用電源の電圧を制御する機器(省エネ機等)との併用はしない</b> 正常な動作ができなくなることがあります。

# 1



## 自立運転機能とは？

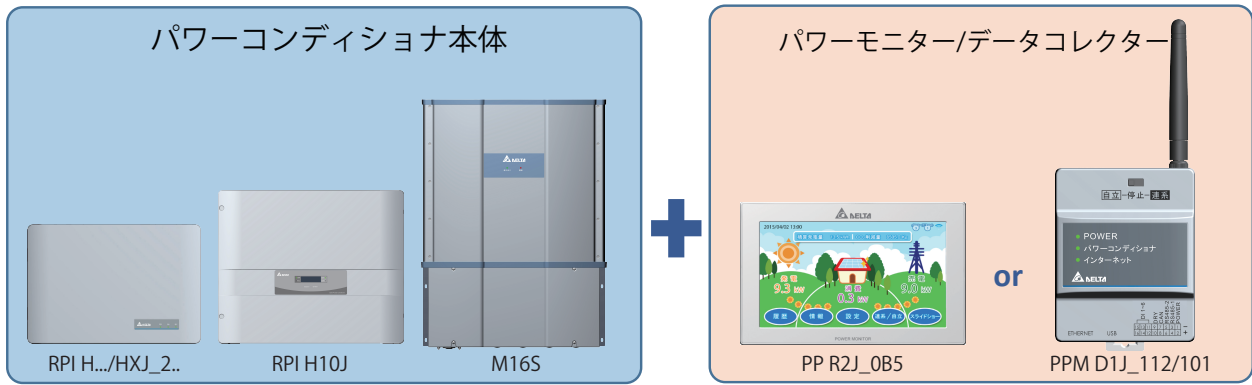
停電時に、太陽光で発電した電力を利用できるようにするための機能です。

太陽光発電システムは、停電すると速やかに系統線との接続を遮断、運転を停止します。停電は、断線や、漏電、更には電線工事などにより発生しますが、電気を流し続けると危険な為、太陽光発電システムは発電を止めて、電力出力を停止せねばなりません。

自立運転機能が搭載されているパワーコンディショナでは、パワーコンディショナ本体は系統線との接続を遮断（解列）したまま、特定のコンセントに太陽光で発電した電力を出力することができます。

操作方法はパワーコンディショナ本体と、パワーモニター、データコレクターの組み合わせで異なります。

このマニュアルで、組み合わせを確認の上、操作方法を確認してください。



### 停電で自立運転に切り替える場合、必ずご確認ください

台風や、地震など自然災害や、なんらかの事故が原因で停電が発生した場合、太陽光発電システムに損傷や、異常がないか、ご確認の上、自立運転機能を起動してください。

太陽電池モジュールに破損が見受けられる、パワーコンディショナが水没した、家屋に著しい損傷が見受けられる場合は、自立運転機能の使用を控えてください。また、運転開始後に異常が見受けられたら、直ぐに、太陽光発電システムを停止してください。

### 自立運転機能への切り替え、通常運転への切り替え

自立運転機能を使用するには、必ず、運転モードを「自立運転」に切り替えてからご利用ください。また、停電が復旧し通常運転に戻すには、必ず「連系運転」に戻してください。



停電が数日継続した場合、毎日、運転モードを「自立運転」に切り替えたことを確認の上、自立運転機能をご利用ください。



蓄電池が搭載しているハイブリット蓄電システム「デルタ電子・セイバーHシリーズ」では、停電が発生すると自動で「自立運転」に切り替わります。また、停電が復旧すると、自動で「連系運転」に切り替わります。

詳しくは「SAVeR-H ES6JB1/ES6JB2スタートアップガイド」をご覧ください。

# 自立運転出力と電気製品

自立運転時の出力は、機種ごとに異なりますのでご確認ください。

また、太陽電池の設置容量、日照条件、太陽電池の向き、気温などによっても出力が変化しますのでご留意ください。

自立運転時、発電量と、消費量がバランスを取ります。発電量と、消費量はほぼ、同じ電力量になります。

日照条件が良いからと言って、消費量を大きく上回る発電量が発生することはありません。また、消費量が発電量を上回る、又は、自立運転の出力容量を越えると、自立運転機能が停止（過負荷・オーバーロード）します。使用する電気機器を減らして、再起動してください。

大電力を消費する掃除機、電子レンジ、ドライヤーなど、過負荷・オーバーロードにより、自立運転機能が停止することがあります。自立運転機能を再起動しても停止する場合は、過負荷・オーバーロードを起こす電気機器のご使用を控えてください。

	H4J_220	H4.5J_230	H5.5J_221 H5.5J_230	H6J_240	RPI H10J	M16S
定格出力 (連系時)	4kW	4.5kW	5.5kW	5.9kW	9.9kW	16.5kW
自立運転出力容量	1.5kW/100V				1.5kW/100V 2回路	1.5kW/100V 2回路、又は 3kW/200V

※自立運転出力は力率1の場合の最大出力容量です。



## ワンポイントメモ!

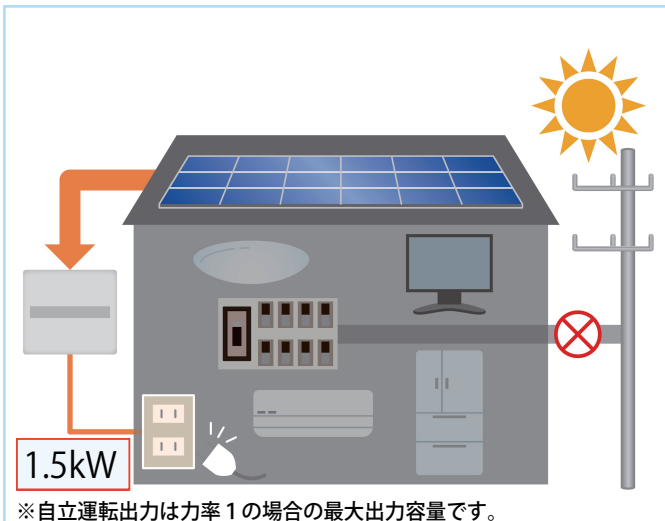
自立運転で炊飯する場合、30分から1時間程度かかります。炊飯開始時は晴天だったのに、いつの間にか天気が急変、太陽光発電の出力が低下して、過負荷で運転停止・・・といったことが発生することがあります。

自立運転機能の利用中は、発電状態をこまめにご確認ください。



自立運転機能出力用のコンセントの位置を確認してください。

太陽光発電システム設置時に、施工店から自立運転機能について、必ず説明を受けるようにしてください。





## 停電時等に自立運転を行うには

本機には、自立運転機能が搭載されています。

停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

本機能をお使いになるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。

また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW(100V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待って、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。接続する機器の電力が1.5kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待って、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

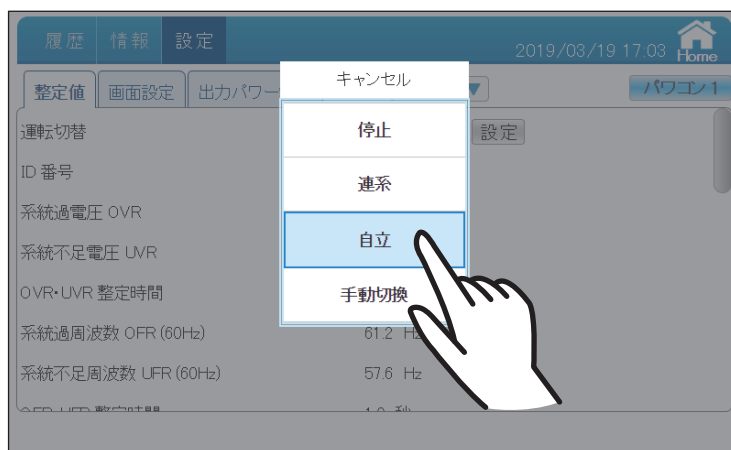
\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

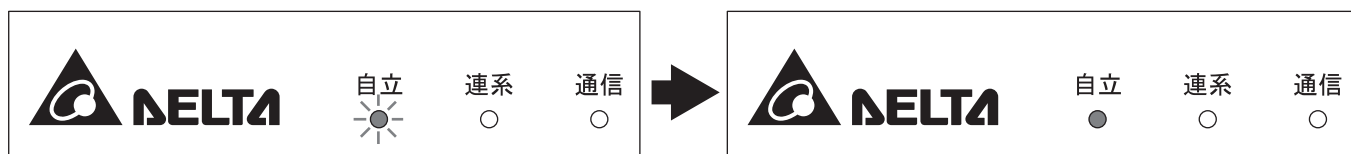
1. パワーモニターの「設定」画面から「整定値」を選択します。
2. 運転切替の「連系▼」をタッチするとメニューが表示されます。



3. メニューから「自立運転」をタッチし、[設定]をタッチします。



4. LED表示パネルの自立LEDが緑色点滅します。



5. しばらくすると点滅が緑色点灯に変わります。
6. 自立運転用コンセント \*2 に電気製品の電源プラグを差し込みます。
7. 日没後自動的に運転を停止します。LED表示パネルが点滅 (1秒点灯、4秒消灯) します。

本機には、自立運転機能が搭載されています。  
 停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

本機能をお使いになるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。

また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW (100V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。  
 この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待つ、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。  
 なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。  
 接続する機器の電力が1.5kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。  
 自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つ、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

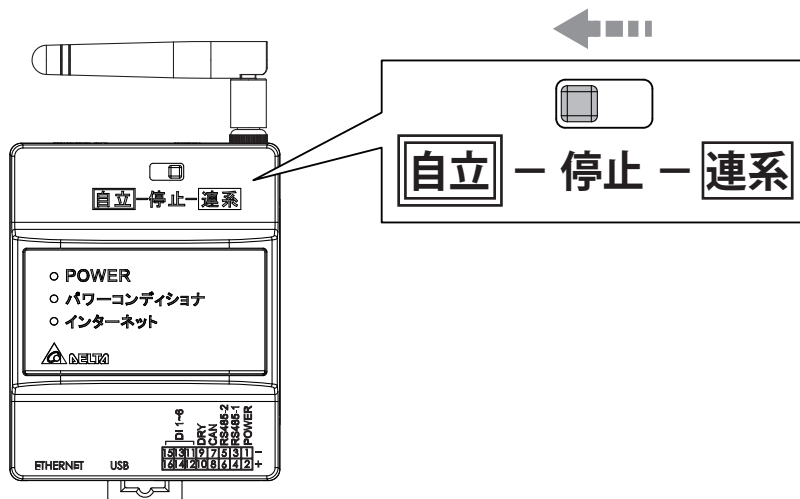
\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント (別途設置工事を行った場合)



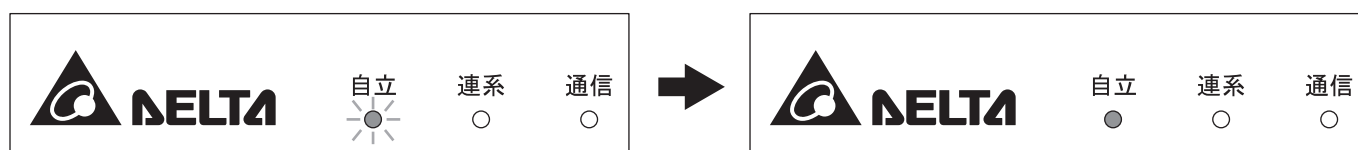
## ■自立運転の切り替え方法

あらかじめ自立運転用コンセントの位置を確認します。

1. データコレクターの運転切替スイッチを「自立」にする。



2. LED 表示パネルの自立 LED が緑色点滅します。



3. しばらくすると点滅が緑色点灯にかわります。

4. 自立運転用コンセントに電気製品の電源プラグを差し込みます。

5. 日没後、自動的に運転を停止します。

本機には、自立運転機能が搭載されています。  
停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

1.5kW 2回路の自立運転端子があります。

本機能をお使いになられるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。

また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW (100V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。  
この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待つ、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。  
なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

## ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。  
接続する機器の電力が1.5kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。  
自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つ、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

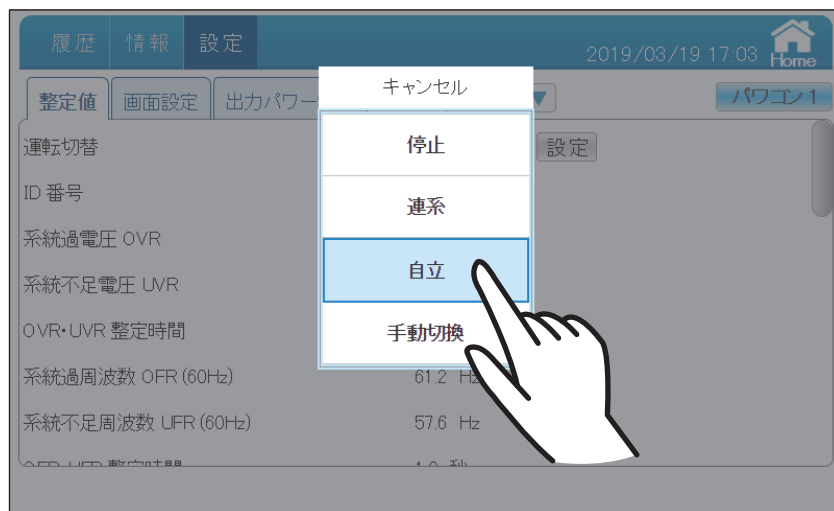
\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

1. パワーモニターの「設定」画面から「整定値」を選択します。
2. 運転切替の「連系▼」をタッチするとメニューが表示されます。



3. メニューから「自立運転」をタッチし、[設定]をタッチします。



4. パワコン本体の自立運転の LED が点滅したり、点灯したりします（機種により異なります）。
5. 自立運転用コンセントに電気製品の電源プラグを差し込みます。
6. 日没後、自動的に運転を停止します。

本機には、自立運転機能が搭載されています。  
停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

1.5kW 2回路の自立運転端子があります。

本機能をお使いになられるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。

また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW (100V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。  
この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待つ、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。  
なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。  
接続する機器の電力が1.5kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。  
自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つ、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

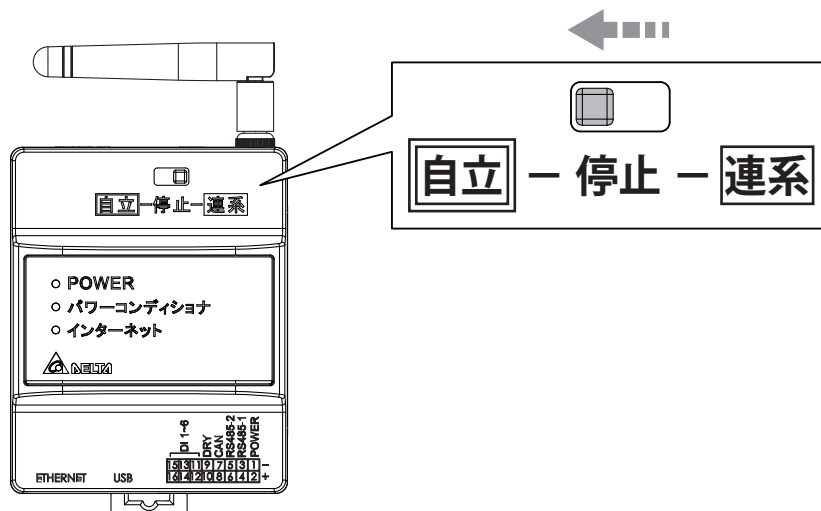
\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

## ■自立運転の切り替え方法

あらかじめ自立運転用コンセントの位置を確認します。

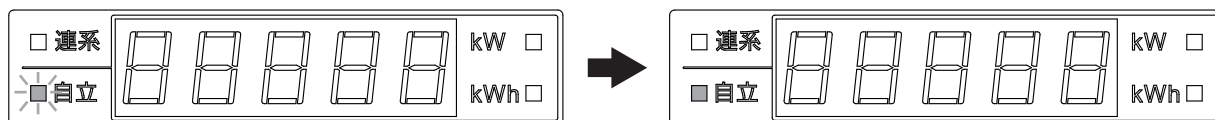
1. データコレクターの運転切替スイッチを「自立」にする。



2. パワコン本体の自立運転のLEDが点滅したり、点灯したりします。

例:RPI H10Jの場合

- ① LED表示パネルの自立LEDが緑色点滅します。



- ② しばらくすると点滅が緑色点灯にかわります。

本機には、自立運転機能が搭載されています。  
停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

1.5kW 2回路の自立運転端子があります。

本機能をお使いになられるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。

また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。  
日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW (100V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード (SF48) が表示され一旦運転を停止します。  
この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待って、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。  
なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。  
接続する機器の電力が1.5kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。  
自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待って、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

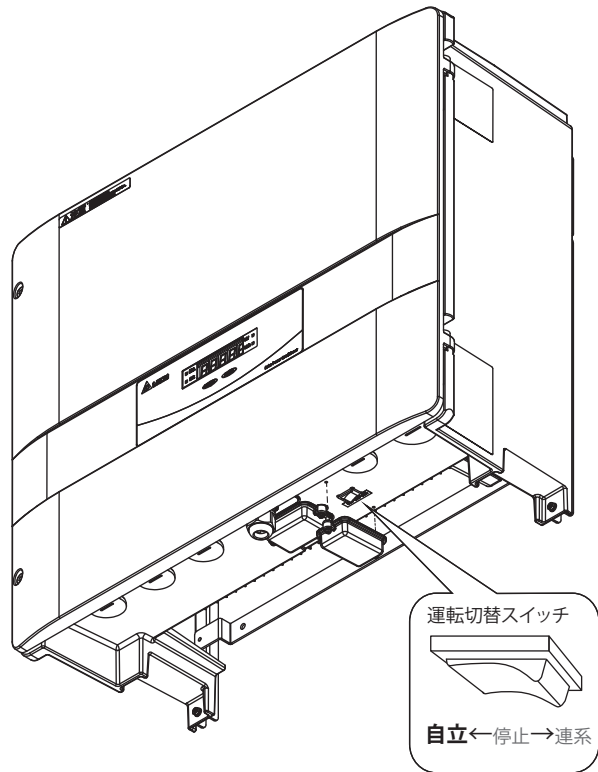
\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント (別途設置工事を行った場合)

# 1. 運転切替スイッチを「自立」にする。<sup>\*</sup> 自立ランプが点滅します。

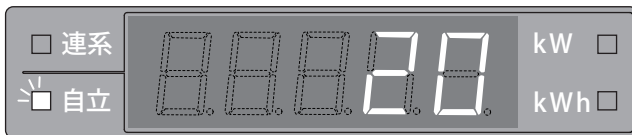
<sup>\*</sup> 製品底面中央カバーのビス(2本)を外し、「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「自立」にする。



操作後は必ずカバーを元の状態にもどしてください。  
機器内部に水が侵入し、故障の原因となります。



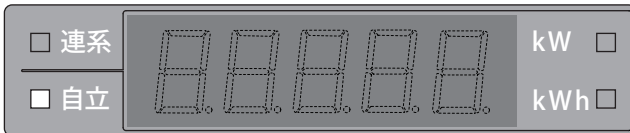
# 2. 表示部に“STAAL”が表示され、 カウントダウンを開始します。



は自立運転開始までの時間(秒)を表します。

1秒ごとカウントダウンし、終了後運転を開始します。

# 3. 運転開始後、自立ランプが点灯します。



# 4. 自立運転コンセント<sup>\*</sup>に電気製品の電源 プラグを差し込みます。

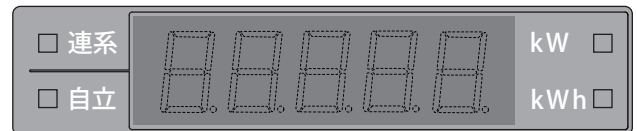


は消費電力1.0kVAを表します。

<sup>\*</sup> 自立運転出力端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

<sup>\*</sup> 設置の際に表示設定を屋外(Out)にした場合、表示部が約20分後に消灯しますが、機能は働いています。

# 5. 日没後自動的に運転停止します。 表示部が消え、自立ランプが消灯します。



- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

本機には、自立運転機能が搭載されています。  
停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

本機能をお使いになられるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。

また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW (100V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。  
この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待って、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。  
なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に「SF48」が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは「W20」(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。  
接続する機器の電力が1.5kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に「SF48」の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。  
自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待って、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

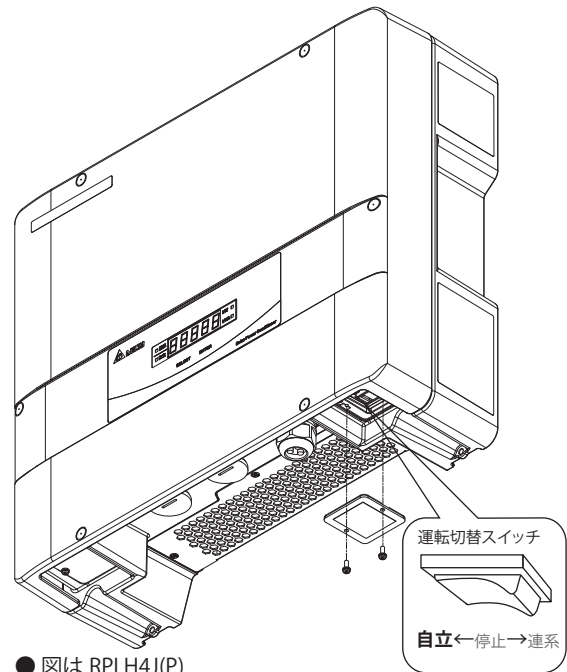
\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)



## 1. 運転切替スイッチを「自立」にする。<sup>※</sup> 自立ランプが点滅します。

<sup>※</sup>製品底面右側カバーのビス(2本)を外し、「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「自立」にする。

**!** 操作後は必ずカバーを元の状態にもどしてください。  
機器内部に水が侵入し、故障の原因となります。



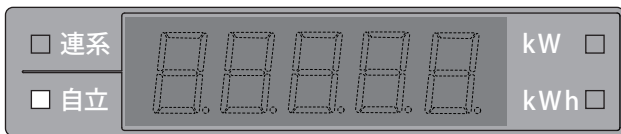
● 図は RPI H4J(P)

## 2. 表示部に「STAAL」が表示され、 カウントダウンを開始します。



**00020** は自立運転開始までの時間(秒)を表します。  
1秒ごとカウントダウンし、終了後運転を開始します。

## 3. 運転開始後、自立ランプが点灯します。



## 4. 自立運転コンセント<sup>※</sup>に電気製品の電源 プラグを差し込みます。



**00000** は消費電力1.0kVAを表します。

<sup>※</sup>パワーコンディショナ底面右側カバー内専用コンセント及び自立運転出力端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

設置の際に表示設定を屋外(Out)にした場合、表示部が約20分後に消灯しますが、機能は働いています。

## 5. 日没後自動的に運転停止します。 表示部が消え、自立ランプが消灯します。



- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に「SF48」が表示されますが、故障ではありません。
  - 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「停止」にし、再度「自立」にする。
- <sup>※</sup>
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままで「W20」(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

本機には、自立運転機能が搭載されています。  
 停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

本機能をお使いになられるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。

また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW (100V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。  
 この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待つ、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。  
 なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。  
 接続する機器の電力が1.5kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。  
 自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つ、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

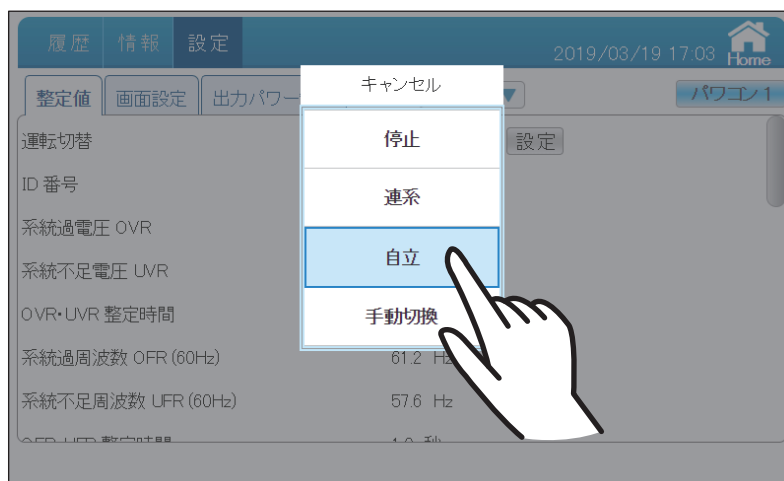
\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

## ■自立運転の切り替え方法

1. パワーモニターの「設定」画面から「整定値」を選択します。
2. 運転切替の「連系▼」をタッチするとメニューが表示されます。



3. メニューから「自立運転」をタッチし、[設定]をタッチします。



4. パワコン本体の自立運転のLED が点滅したり、点灯したりします（機種により異なります）。
  5. 自立運転用コンセントに電気製品の電源プラグを差し込みます。
  6. 日没後、自動的に運転を停止します。
- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
  - 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
  - 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

本機には、自立運転機能が搭載されています。停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

自立運転出力は1.5kW(100V)×2回路、もしくは、3.0kW(200V)×1回路利用できます。パワーコンディショナ設置時に販売店または、施工店にご確認下さい。本機能をお使いになるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW(100V接続)、もしくは3.0kW(200V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待つ、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V)または3kW AC200V以内になるようにしてください。接続する機器の電力が1.5kWまたは3kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つ、再度「自立」にしてください。

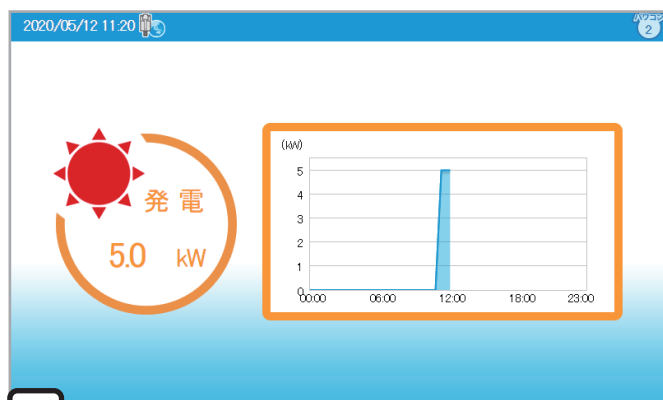


自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

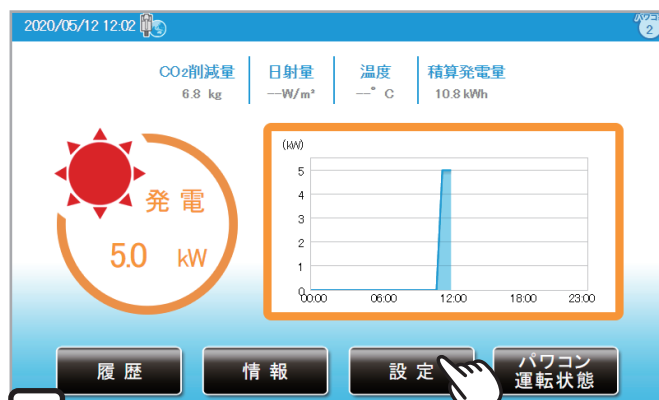
\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

## 自立運転の切り替え方法



**1** パワーモニター画面はタッチし、画面を表示させます。



**2** 画面下の「設定」ボタンをタッチします。



**3** 整定値画面が表示されたら右端のスクロールバーの下をタッチしながら画面をスクロールします。



**4** 「連系/自立モード」の▼をタッチすると画面が表示されます。

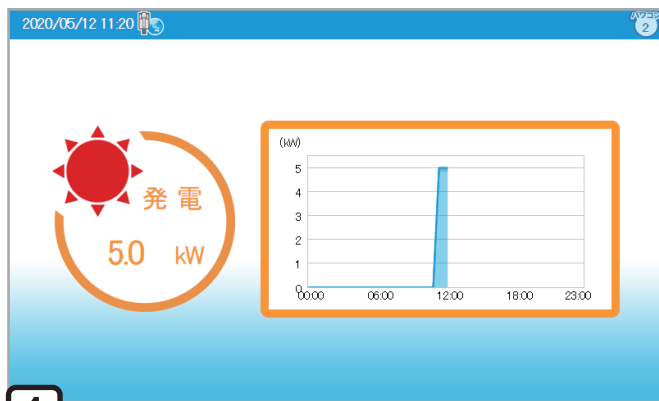


**5** その画面から「自立」をタッチします。



**6** 画面が消えたら「設定」ボタンをタッチします。

## 自立運転から連系に戻す方法



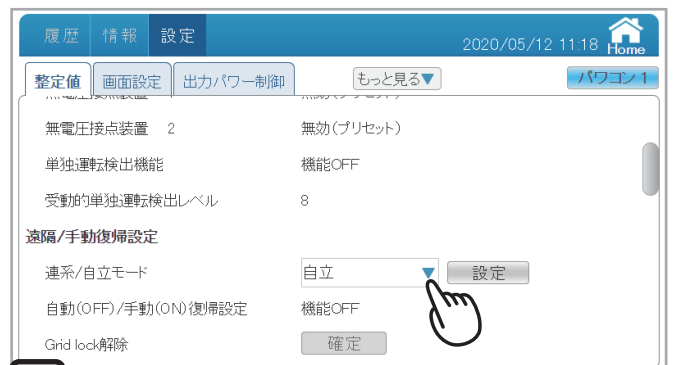
1 パワーモニター画面はタッチし、画面を表示させます。



2 画面下の「設定」ボタンをタッチします。



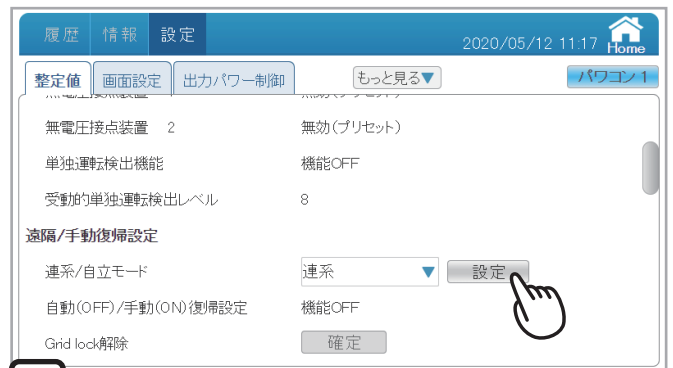
3 整定値画面が表示されたら右端のスクロールバーの下をタッチしながら画面をスクロールします。



4 「連系/自立モード」の▼をタッチすると画面が表示されます。



5 その画面から「連系」をタッチします。



6 画面が消えたら「設定」ボタンをタッチします。



本機には、自立運転機能が搭載されています。停電時でも日中太陽光があれば、自立運転端子から電力を供給することが可能です。非常用などにお使いください。

自立運転出力は1.5kW(100V)×2回路、もしくは、3.0kW(200V)×1回路利用できます。パワーコンディショナ設置時に販売店または、施工店にご確認下さい。本機能をお使いになるには、お客様ご自身で操作をする必要があります。また、設置時に自立運転用コンセントを設置していただく必要があります。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。



自立運転用コンセントに接続する機器の消費電力が1.5kW(100V接続)、もしくは3.0kW(200V接続)を超えた場合、または日射が弱く発電電力が接続機器の消費電力を下回る場合は、過負荷エラーの点検コード(SF48)が表示され一旦運転を停止します。この場合、接続機器の外し、消費電力を下げる。もしくは、一旦連系/自立モードを「停止」に切替え、日射が安定するまで待つ、再度「自立」に切替えて運転を再開ください。なお、過負荷エラーで一旦停止した場合は、30秒後に自動的に再起動しますが、連続して5回、過負荷エラーを検出しますと運転ロックがかかります。(ロック解除には、別途サービスマンによる解除操作が必要になります)

- 電気製品が接続されてる場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の“自立←停止→連系”を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

### ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kW以内(AC100V)または3kW AC200V以内になるようにしてください。接続する機器の電力が1.5kWまたは3kWを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つ、再度「自立」にしてください。



自立運転端子に命に係わる機器を接続しないでください。日射変動により機器停止の恐れがあります。

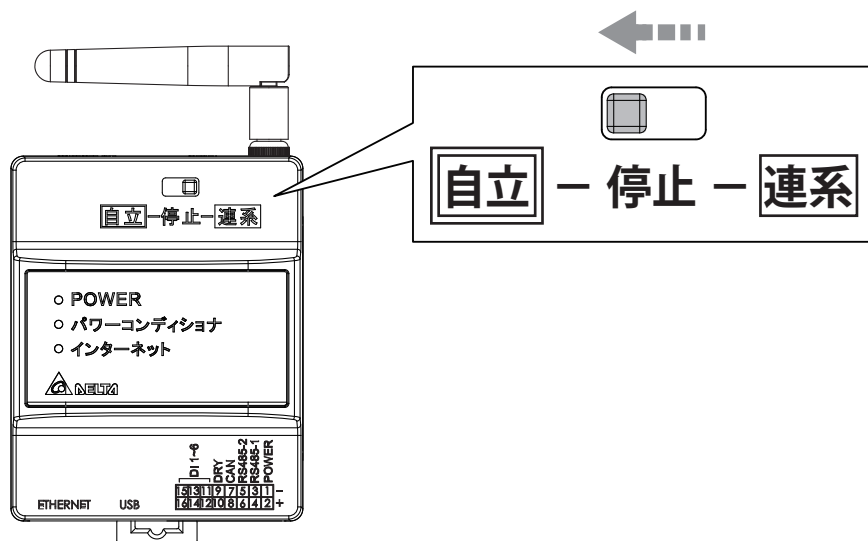
\*1 パワーモニターの電源をACアダプターから供給すると、停電時にパワーモニターが動作しません。自立をお使いの場合は、パワーコンディショナから電源を取るように工事してください。

\*2 自立運転端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

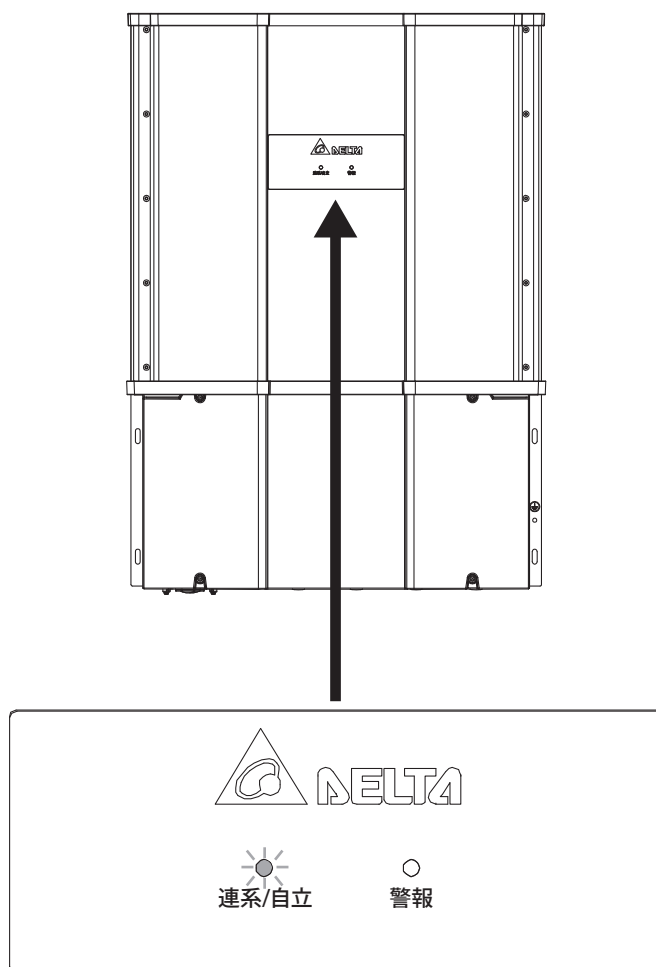


## ■自立運転の切り替え方法 (D1J\_101 編)

1. データコレクターの運転切替スイッチを「自立」にする。



2. 連系/自立 LED が緑色点滅 (短 2、長 1) します。



3. 自立運転用コンセントに電気製品の電源プラグを差し込みます。

4. 日没後、自動的に運転を停止します。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

コーポレートガバナンス、環境保護、従業員施策の3分野で、15の目標に取り組んでいます。



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Smarter. Greener. Together.

## デルタ電子株式会社

エナジーインフラ営業本部

電話: 03-5733-1267 (東京)

06-4798-0555 (大阪)

<https://www.delta-solar.jp>



詳しい情報はこちら▲

## 商品サポート・お問い合わせは

電話: 0570-550-065 (お問い合わせ窓口)

- 外観・仕様は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 製品のご使用に関しては製品添付の取扱説明書をお読みください。
- 詳細な仕様に関するご質問は下記「販売店・代理店」までご連絡ください。

販売店・代理店